



学 校 だ よ り 特別号



京都市立春日野小学校 校長 當麻 章英

令和6年度 後期学校評価アンケートについてお知らせいたします

寒さの中にも、春の足音を感じる季節となりました。平素は、春日野小学校学校教育に多大なご理解とご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、前期と同様に学校教育目標「輝く春日野っ子の育成」に向けて、どこまで実現しているかをアンケートで問い、今後の学校教育をさらによりよく進めていけるように考えています。以下に、アンケートの結果と分析した内容をお知らせします。

児童・教職員アンケート結果

A…そう思う B…どちらかといえばそう思う C…どちらかといえばそう思わない D…そう思わない (単位 %)
プラス…A+B マイナス…C+D

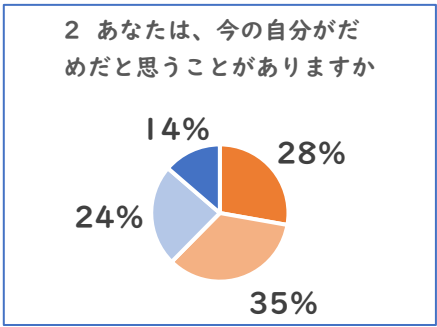
質問項目		A	B	C	D	プラス	マイナス
すてきな心	1 あなたは、今の自分が好きですか	児童 38	38	18	6	76	24
		教職員 24	65	6	5	89	11
	2 あなたは、今の自分がだめだと思うことがありますか	児童 28	35	24	13	63	37
		教職員 29	24	47	0	53	47
	3 自分にはよいところがあると思いますか	児童 48	32	13	6	80	19
		教職員 29	53	18	0	82	18
	4 自分はみんなの役に立っている	児童 24	38	29	9	62	38
		教職員 12	65	23	0	77	23
	5 自分は人(友達)の話をちゃんと聞くことができる	児童 50	39	8	3	89	11
		教職員 18	65	17	0	83	17
	6 自分には、自分のことをわかってくれる家族や友達がいる	児童 74	20	5	1	94	6
		教職員 29	65	6	0	94	6
	7 自分が正しいと思ったことは、はっきりといえる	児童 33	41	20	6	74	26
		教職員 6	71	23	0	77	23
	8 自分には得意なことがある	児童 74	19	5	3	92	8
		教職員 18	53	29	0	71	29
	9 自分らしさを大切にしたい	児童 62	32	6	0	94	6
		教職員 41	47	6	6	88	12
がんばる学習	10 授業はよくわかる	児童 44	38	14	4	82	28
		教職員 0	76	18	6	76	24
	11 授業中、進んで自分の考えを伝えている	児童 29	36	27	8	65	35
		教職員 12	65	18	5	77	23
	12 学習問題(めあて)に向かって学習を進めている	児童 40	43	13	4	83	17
		教職員 29	71	0	0	100	0

	13 学習問題(めあて)について、調べたり考えたりすることが好きだ	児童	35	39	21	6	73	27
		教職員	18	76	0	0	94	6
	14 学習問題(めあて)について、友達と話し合うことが好きだ	児童	39	36	17	8	75	25
		教職員	6	94	0	0	100	0
	15 学習予定表をみて、家庭学習を毎日している	児童	35	35	18	12	70	30
		教職員	12	53	29	6	65	35
	16 学校生活が楽しい	児童	62	26	7	5	88	12
のびのびいきいき元気な体		教職員	41	53	6	0	94	6
	17 きまりやマナーを守って生活している	児童	40	49	9	2	89	11
		教職員	29	53	12	6	82	18
	18 困ったことがあれば、先生や友達に相談している	児童	43	33	15	9	76	24
		教職員	24	71	5	0	95	5
	19 進んで運動したり、休み時間は運動場で遊んだりしている	児童	44	29	19	8	73	27
		教職員	12	76	6	6	88	12
	20 早寝早起きし、朝ご飯をしっかり食べている	児童	55	33	9	3	88	12
		教職員	29	65	6	0	94	6
	21 食後、寝る前に歯磨きをしている	児童	78	15	4	3	93	7
		教職員	53	41	6	0	94	6
	22 地域の行事やスポーツに参加している	児童	29	22	21	28	51	49
		教職員	0	35	47	18	35	65

前期の課題のあった質問事項と比べて

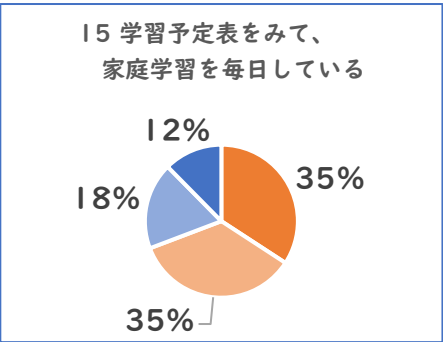
【すてきな心】設問②「あなたは、今の自分がだめだと思うことがありますか」について

だめだと思うということは、自分の課題に対してしっかりと向き合うことができ、課題を克服しようとする表れと捉えることができますが、自己肯定感が低いとも捉えることもできます。前期のアンケートから、どの授業にもめあてをもって学習に取り組むなど、それぞれの子が自ら課題を克服し、自己肯定感を高められるように教育活動を進めました。しかし、前期はプラスと答えた児童は59%でしたが、今回は63%と微増でした。今回の結果から、次年度も継続して自己肯定感を高められる教育活動を進めていきたいと考えています。



【がんばる学習】設問⑮「学習予定表をみて、家庭学習を毎日している」について

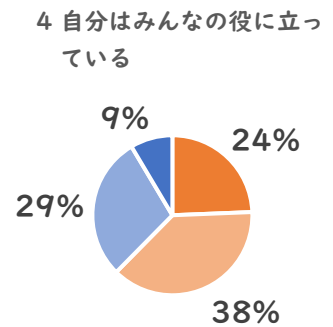
前期は69%の児童がプラスと回答していましたが、後期は70%に留まりました。前期の結果を受けて、次の時間の学習の見通しをもち、学習予定表をみる習慣がもてるように取組ました。また、学習の見通しから自由学習等の家庭学習の充実につながるように図りました。しかし、今回の結果から、まだまだ学校全体を通してこの習慣を身に着けるには、不十分だったことが分かります。来年度も引き続き、予定表をみる習慣化を図り、学習に対する見通しをもつことで家庭学習の定着を図りたいと考えます。



後期のアンケートから課題があると考える取組

【すてきな心】設問④「自分はみんなの役に立っている」について

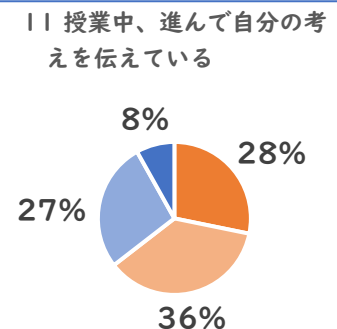
今回の結果は、プラスと答えている児童は62%で、前回の59%に比べて僅かに増加しましたが、まだまだ低い回答に留まっています。この結果から、自尊感情を高める活動の必要性が感じられます。自尊感情は、人と人との関わりの中で育まれます。人権に関わる授業を行うだけでなく、どの活動でも他者と関わり、協働する機会を設けることなどして、子どもの主体性や多様性、持ち味を育み、自分や他者への理解を深める必要があります。来年度も授業だけでなく、児童が自ら考え、行動することで、自尊感情が高まる活動を進めていきたいと考えています。



【がんばる学習】設問⑪「授業中、進んで自分の考えを伝えている」について

前期はプラスの意見が70%でしたが、後期は65%に減少しました。自分の考えを進んで伝えるにいと答えた児童が増えたことになります。学習の中で、児童が自ら発言する機会が作られていなかったり、伝える必要性を持たせられなかったりしたことが考えられます。教職員のプラスも低いことから同じことが言えます。

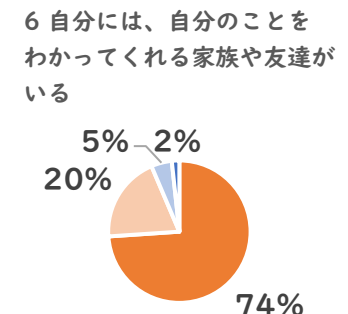
この結果を真摯に受けとめ、次年度、授業改善などを図り、児童が自ら考えたことを進んで発言したいと考えられる教育活動を、進められるよう検討していきたいと考えています。



後期のアンケートから誇れる点

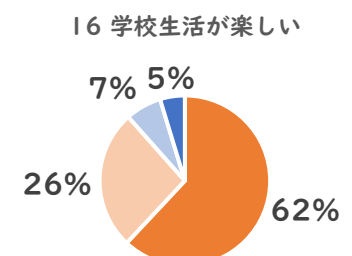
【すてきな心】設問⑥「自分には、自分のことをわかってくれる家族や友達がいる」について

前期に引き続きプラスと答えている児童が94%と高い結果になりました。家族や友人に認められ、心がいつも安らぎ、自分に自信をもつことで何でも挑戦してみようという気持ちになれます。設問⑧、⑨もプラスの肯定的な意見が高いのは、この結果につながっていると考えられます。しかし、マイナスに捉えている児童も少なからずいます。どの子もプラスに答えられるように、ご家庭においても、子ども達を認め、励ますお声かけを今後もよろしくお願いいたします。



【のびのびいきいき元気な体】設問⑯「学校生活が楽しい」について

前期に引き続きプラスと答えている児童が多い結果となりました。多くの時間を学校で過ごす児童にとって学校が楽しいと思えることは、一番大切なことです。しかし、マイナスの回答をしている児童もいます。学校が楽しくないと捉えている児童の原因をさぐり、楽しいと思える教育活動が進められるよう、改善していきたいと考えています。



保護者アンケート結果

A…そう思う B…どちらかといえばそう思う C…どちらかといえばそう思わない D…そう思わない

プラス…A+B マイナス…C+D

	質問項目	A		B		C		D		プラス		マイナス	
		重要	実現	重要	実現	重要	実現	重要	実現	重要	実現	重要	実現
すてきな心	1 子どもは、今の自分が好きだと思っている	66	29	32	58	2	13	0	0	98	87	2	13
	2 子どもは、今の自分にだめな所があると思っている	20	17	59	57	20	25	/	/	79	74	21	26
	3 子どもは自分で自分のよいところを知っている	62	34	33	49	4	16	/	/	95	83	5	17
	4 子どもは、周りの人に役に立っていると思っている	45	27	50	60	4	12	/	/	95	87	5	13
	5 子どもは人(友達)の話をちゃんと聞くことができる	56	28	39	51	4	20	/	/	95	79	5	21
	6 子どもには、自分のことをわかってくれる家族や友達がいる	82	62	17	36	1	2	0	0	99	98	1	2
	7 子どもは正しいと思ったことを、はっきりと言える	46	17	43	51	7	28	4	4	89	68	11	32
	8 子どもにはだれにも負けないもの(こと)がある	45	30	43	47	11	22	/	/	88	77	12	23
	9 子どもは、自分を大切にしたいと思っている	73	34	26	60	1	6	0	0	99	94	1	6
がんばる学習	10 子どもは、学習している内容を理解している	47	21	44	55	7	23	2	/	91	76	9	24
	11 子どもは、自分から進んで学習をしている	43	20	46	38	9	35	2	7	89	58	11	42
	12 子どもは、めあてをもって学習に取り組んでいる	39	15	48	39	12	39	/	7	87	54	13	46
	13 子どもはわからないところを先生に聞くことができる	53	20	38	49	7	28	2	3	91	69	9	31
	14 子どもは家で読書をしている	38	17	35	15	20	43	7	25	73	32	27	68
	15 子どもは学習予定表をみて、家庭学習を毎日している	37	22	46	29	13	35	4	14	83	51	17	49
のびのびいきいき元気な体	16 子どもは楽しく学校生活を送っている	72	46	26	47	0	5	2	2	98	93	2	7
	17 子どもはきまりやマナーを守って生活している	56	33	41	60	2	6	/	/	97	93	3	7
	18 子どもは困ったことがあれば、先生や友達に相談している	56	18	39	61	4	20	/	/	95	79	5	21
	19 子どもは進んで運動をしている	53	28	36	35	10	33	/	4	89	63	11	37
	20 子どもは早寝早起きし、朝ご飯をしっかり食べている	67	36	27	46	6	17	0	/	94	82	6	18
	21 子どもは食後、寝る前に歯磨きをしている	85	72	15	24	0	4	0	0	100	96	0	4
	22 子どもは地域の行事やスポーツによく参加している	25	14	45	27	23	40	7	19	70	41	30	59

【すてきな心】

この領域の結果から、重要度をみると前期と同様に肯定的な回答が多いです。重要度は、保護者の皆様が子どもにこうなってほしいという願いであると考えています。しかし、実現度をみると重要度と隔たりがある設問がいくつかある結果となりました。保護者の思いを大切にして実現度と重要度の差が縮まっていくよう、学校教育を進めていきたいと考えています。

その中でも、重要度と実現度の隔たりが一番大きかったのは「7 子どもは正しいと思ったことを、はっきりと言える」です。前期のプラスの実現度は77%でしたが、今回の実現度は68%と9%も減る結果となりました。この結果を真摯に受け止め、正しいと思ったことは自信をもって言えるように、正しい行動や発言があった際には見逃さず、すかさず褒めて、自尊感情を今後も高めていきたいと考えています。

【がんばる学習】

この領域についても重要度と実現度の隔たりがある結果となりました。特に「14子どもは家で読書をしている」においては、実現度がマイナスの方が多く結果となりました。読書に興味関心を持たせ、家庭を巻き込んでの読書習慣の定着が必要です。学校では、教職員の読み聞かせなどの取り組みを行っていますが、自発的に本に親しみ、思い出の残る素敵な一冊に出会えるようにさらに取組を充実させていきたいと考えています。

また、「11子どもは、自分から進んで学習をしている」において、プラスの重要度が89%に対して実現度が58%となりました。前期の実現度と同値になりました。家庭学習においても、めあてをもって主体的に学習できる子どもを目指しています。そのために、今自分に必要な学習は何かを考え、進んで学習ができるよう、ご家庭においても子どもたちに学習予定表を見ながらお声掛けをお願いいたします。

本校では子どもたちに育てたい資質・能力として「問題発見・解決能力」の育成を目指しています。人は一生問題（課題）を解決しながら人生を歩んでいくと言われるとおり、この能力は、大人になったときに生きて働く力となります。本校では、各教科で「問題解決的な学習」を行い、子ども自らが自分の問題として課題を捉え、主体的に解決していこうとする授業を日々行っています。

【のびのびいきいき元気な体】

この領域において「16子どもは楽しく学校生活を送っている」のプラスの重要度は98%に対して実現度が93%と高い回答が得られる結果となりました。前述の児童のアンケート結果にも書かせてもらいましたが、多くの時間を学校で過ごす児童にとって学校が楽しいと思えることは、一番大切なことです。ご家庭でも実現できていると感じて頂いていることは、学校としてはうれしい限りです。日々、ご家庭との協力のおかげだと感じています。今後も、誰一人取り残さないよう、誰もが楽しいと思える教育活動を進めてまいりたいと考えています。次に、マイナスの実現度の高かった「19子どもは進んで運動をしている」については、休み時間たくさんの子が運動場で遊んでいます。同じ遊びや決まった子に限られる場合があります。また、放課後など外で体を動かして遊ぶということも少なくなっていると感じております。毎年行っている体力テストでは、全国的に子ども達の運動能力が下がっており、本校も同じことがあります。学校としても危惧するところです。今後は、学校でも子どもたちが自発的に体を動かしたいと思えるような取組を進め、体力の向上を図りたいと考えています。

令和6年度の後期の学校評価アンケートの結果を真摯に受け、学校教育目標、目指す子ども像の実現に向けて、どこまで達成できているのか、課題が多くみられるのはどの項目かをしっかり把握し、さらに実現に近づいていくように来年度以降も学校教育を進めていきたいと思います。

今後とも春日野小学校の学校教育へのご理解とご協力何卒よろしくお願いいたします。